

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公表番号】特表2001-503780(P2001-503780A)

【公表日】平成13年3月21日(2001.3.21)

【出願番号】特願平10-523200

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/138 (2006.01)

A 6 1 K 31/131 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/138

A 6 1 K 31/131

A 6 1 P 37/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年7月18日(2007.7.18)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 1種またはそれ以上の薬学的に許容される希釈剤または担体と共に、遊離形または薬学的に許容される塩形である2-アミノ-2-[2-(4-オクチルフェニル)エチル]-1,3-プロパンジオールを含んでなる、臓器または組織の同種移植のレシピエントにおける移植片脈管疾患を処置するための医薬組成物。

【請求項2】 2-アミノ-2-[2-(4-オクチルフェニル)エチル]-1,3-プロパンジオール塩酸塩を含んでなる、請求項1記載の組成物。

【請求項3】 免疫抑制剤または免疫調節剤と共に使用するための、請求項1または2記載の組成物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】発明の詳細な説明

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【発明の詳細な説明】

(1) 6頁末4~2行

「塩酸塩形の化合物A等の、式Iの化合物の5-30mg/kg/日の投与により、無胸腺および正常胸腺(euthymic)レシピエントの何れにおいても移植片の生存が長くなる。」とあるを「式Iの化合物、例えば塩酸塩形の化合物Aの5-30mg/kg/日の投与により、無胸腺および正常胸腺(euthymic)レシピエントの何れにおいても移植片の生存が長くなる。」と訂正する。

(2) 8頁12~13行

「式Iの化合物 化合物A等」とあるを「式Iの化合物 例えば化合物A」と訂正する。